

北九州市PCB処理 監視委員会だより

Vol. 26

平成23年
10月

若松区響灘地区で行われるPCB廃棄物処理事業が、安全かつ適正に行われるよう、北九州市は、施設の計画、建設、操業の各段階を通して監視を行う「北九州市PCB処理監視委員会」を設置しています。

監視委員会の活動内容については、「監視委員会だより」を発行し、随時、市民の皆さんへお知らせします。

今回は、第26回監視委員会の内容についてお伝えします。

第26回北九州市PCB処理監視委員会

第26回監視委員会を、8月2日(火)日本環境安全事業㈱(以下:JESCO)北九州事業所において開催しました。当日は、委員10名のほか、JESCOや北九州市などPCB処理事業に関連する行政機関が出席しました。

内 容

施設立入り

会議(議題)

- (1) 第2期処理施設プラズマ溶融分解設備2号機の試運転計画について
- (2) 北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況について
- (3) その他

・最初に思ったのは東北大震災のことで、今日なお大変な状況が続いているが、この新しい建物の耐震構造、地震に対する対策はどうなっているのかなと思った。

・1号機では不具合がちょっと起きていたが、それに対する2号機の改良がどのようになされたのか。

・1号機と2号機の違いがよくわかったので、これからの処理がスムーズにいくのではないかなと思う。

・東日本大震災に関して、設備の非常時の対策が大きな興味の対象であり、これが実施されていることを確認することが今回の立入りの目的であり、ある程度満足している。

施設立入り

議事に入る前に、第2期施設プラズマ溶融分解設備2号機(設置工事中)への立入りを行いました。

施設立入りに関する委員のコメント

- ・1号機ではドラム缶でプラズマ固形物を搬送していたが、2号機では固形物の搬送装置ができており、作業しやすくなったと感心している。安全性についても、十分に配慮されていると感じた。まだ稼働していないが、立入りした時は大変暑かったので、作業中に注意散漫となり事故につながらないよう適温管理が必要と思った。



(立入りの様子: 第2期施設プラズマ溶融分解設備2号機)

会議議事内容

(1) 第2期処理施設プラズマ溶融分解設備2号機の試運転計画について

- ・第2期処理施設のプラズマ溶融分解設備2号機の試運転計画が報告されました。
- ・平成23年8月から非PCB廃棄物を用いた試運転を、平成23年9月からはPCB廃棄物を用いた試運転をそれぞれ行い、平成24年1月からの操業開始を予定しています。

(2) 北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況について

平成23年6月末時点のPCB廃棄物の受入数、処理数について

	トランス (台)	コンデンサ (台)	安定器 (トン)
受入数	1,592	18,826	214.4
処理数	1,584	18,529	204.0

表中の受入数・処理数には、試運転期間中の数量も含まれています。

環境モニタリング結果について

PCB廃棄物処理事業の実施による周辺の生活環境への影響を調査するため、環境測定を実施しています。JESCOが実施した環境モニタリング結果について、周辺環境・排出源ともすべて環境基準等に適合していたことが報告されました。



(立入りの様子：第2期施設 固形物搬送装置)

(3) その他

北九州PCB廃棄物処理施設の災害時対応について

JESCOから、北九州PCB廃棄物処理施設の災害時対応について、報告されました。

地震に対しては、震度6強に耐えられるような建屋構造になっており、浸水に対しては、基準水面より4mの高さに施設の地盤面を設定しています。

市内PCB廃棄物に関する調査結果について

北九州市から、市内のPCB廃棄物に関する調査結果について、報告されました。

届出を行っていない市内事業所(従業者規模5人以上)を対象とした調査の結果、新たに76の事業所でPCB廃棄物を保有していることが判明しました。

また、届出を行っている保管事業者を対象とした調査では、処理が完了していない理由として、約2割の事業者が予算確保が困難と回答しました。

討議内容

第2期処理施設プラズマ溶融分解設備2号機の試運転計画について

(要望) 委員

全国5つの事業所で、操業以来、大なり小なり三十数回の事故が起きている。それも万全の体制の下での事故と思う。今回の試運転から操業開始に入るまでの間は、三者で常に連携を取りながら行うということだが、現場と首脳部の連携を常に取って行うよう切にお願いしたい。

(回答) JESCO

試運転中の作業は、JESCOとJVグループ、運転受託会社の三者で、手順に漏れがないよう、様々な運転手順を一つ一つ書類で確認して進めるようにしている。

(質問) 委員

2号機で新たに設けたバグフィルタで捕集した固形物の搬送システムは未経験の分野だと思うが、この装置自体は実績があるものなのか。

(回答) J E S C O _____
機器そのものは新しいものではなく、一般的に使われているものを採用している。特に新しい技術が使われているというものではない。

(質問) 委員 _____
試運転期間中の環境モニタリングを2回行うとなっているが、具体的にいつ行うのか。

(回答) J E S C O _____
P C B廃棄物を用いた試運転において、予備性能試験のプラント全体機能確認試験 ということと、引渡性能試験とで、1回ずつ測定することになっている。

北九州P C B廃棄物処理施設の操業状況について

(質問) 委員 _____
地元市民にとって関心のある市内のトランスの受入が、平成23年度に入ってゼロになっている。現在どのような状況であるか、説明をお願いしたい。

(回答) 北九州市 _____
市内のトランスの保管状況については、180台ぐらいがまだ保管されている。事業者側において、処理費の工面などが難しいため、処理が進んでいないのが現状のようである。市としても、色々なかたちで早期処理の促進や指導を行っているところである。

(質問) 委員 _____
現場作業に従事している方の健康診断の受診率は何か。結果は異常なく良好か。また、微量のP C Bの長時間曝露が何を起こすのか、わかれば教えてもらいたい。

(回答) J E S C O _____
健康診断の受診率は100%という状況であり、曝露についても血液中のP C Bをきちんと測定しており、特に大きな変化はない。また、長期曝露に対する健康上の影響については、健康診断の結果やP C Bやダイオキシン等の測定結果を今後長期に蓄積し、その推移等を確認していく。

(質問) 委員 _____
環境モニタリングの生物のところ、ムラサキインコガイの個体数が十分でないという説明だったが、今後増える可能性はあるのか。

(回答) J E S C O _____
固着性の生物でないと長期のモニタリングが難しいためムラサキインコガイを指標にした経緯があるが、ほかの固着性の生物が見当たらないため、専門家の先生に相談している状況である。

その他

(質問) 委員 _____
今回の東北大地震を受けて、地震に対する訓練などの取組みは行ったのか。

(回答) J E S C O _____
地震を想定して全装置が停止するという想定で、7月に総合防災訓練を行った。

(要望) 委員 _____
処理料がかなり高いということを聞いており、資金面で大変困っている事業所等もあると耳にしている。北九州市の方も何らかの方法を講じて、できるだけ早く処理を進め、いち早く市内分の残量がゼロになるよう、今からしっかりと頑張っていたきたい。

(質問) 委員 _____
P C B特別措置法に、期限前に処理するよう、罰則を設けることなどできないのか。

(回答) 北九州市 _____
法律での処理期限は平成28年7月ということになっており、期限までに処理を行いなさいということになっている。期限までに処理を行わない場合は、改善命令の対象になる。法律上そのようになっているので、期限前に強制的にやりなさいという強い指導はなかなか難しいのが現状である。



北九州市PCB処理監視委員会 委員

学識経験者

氏名	所属
浅岡 佐知夫	北九州市立大学国際環境工学部教授
是永 逸生	(社)日本技術士会九州支部副支部長
清田 高德	北九州市立大学国際環境工学部教授
河井 一明	産業医科大学産業生態科学研究所准教授
吉永 耕二	長崎大学工学部教授

市民代表（市民団体からの推薦者）

氏名	推薦団体
大庭 卓朗	若松区自治総連合会
荒川 チエコ	北九州市女性団体連絡会議

市民代表（公募による選出者）

氏名	職業
嶋津 元彦	元団体職員
津田 潔	元会社員
成田 裕美子	自営業専従者
古野 和彦	団体職員



PCB処理事業について

PCB処理事業に関するお問い合わせは
日本環境安全事業(株) 北九州事業所
TEL 093-752-1113 まで
〒808-0021
福岡県北九州市若松区響町 1-62-24

PCB処理事業に関する情報は、
日本環境安全事業(株)のホームページ
(<http://www.jesconet.co.jp/>)
に掲載しています。

処理施設の見学について

情報公開ルームは、ご自由に見学ができます。
【開館時間：平日 9:00～17:00】
(詳しい説明をご希望される方は、予めお電話
(093-752-1113)でご予約ください。)

【知ってなるほど！PCB】

～ PCB廃棄物の早期処理について ～

PCB特別措置法において、PCB廃棄物の保管事業者は、平成28年7月までの処分が義務づけられています。

日本環境安全事業(株)が運営する北九州PCB処理施設における処理完了の予定時期が平成27年3月とされているため、保管中のPCB廃棄物については、速やかに処分することが必要となります。

また、使用中のPCB含有機器についても、法律の趣旨を踏まえ、計画的な使用の中止及び処分が求められています。

北九州市PCB処理監視委員会について

監視委員会は、市民の方の傍聴ができます。委員会の開催は、市政だよりなどでお知らせします。

PCB処理監視委員会（会議資料、議事録など）やPCB処理事業に関する情報は、市のホームページ（<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>）

[トップページ](#)

[ビジネス・産業
・まちづくり](#)

[ごみ・環境（事業者向け）](#)

[北九州PCB処理事業](#)

に掲載しています。

[発行] 北九州市PCB処理監視委員会

事務局：北九州市 環境局 環境監視部 産業廃棄物対策室

〒803-8501 北九州市小倉北区城内 1-1

TEL 093-582-2178 FAX 093-582-2196